



屋内施設での わさび水耕栽培

AGRI SYSTEM



大洋化学株式会社



和歌山発祥 真妻わさびの再生、 大洋化学の取組み。

「もっと身近に農業を」をテーマに、高齢者や農業初心者にも取り組みやすい農業を実現するため、屋内型水耕栽培システムを開発しました。

大洋化学では、この屋内型水耕栽培システムを用いて和歌山発祥のわさびである真妻わさびの安定した生産を実現し、効率化にチャレンジしています。



真妻わさびは通常の品種と比べると栽培期間が長いため、自然災害や、害獣被害が生じやすく、栽培が難しい品種です。また和歌山では台風の被害が多いため、発祥の地でありながら生産数が減少してしまいました。大洋化学は香り高い真妻わさびを和歌山の地から安定生産いたします。



屋内型わさび栽培システム

栽培棚に養液を循環させ、LED照明により栽培するわさび水耕栽培棚。1台でおよそ36~48株の栽培が可能で、養液タンクより給水し、最上段より養液を循環させることができます。



養液循環システム



LED照明システム



照明を管理



プレミアム和歌山と加工食品

屋内型水耕栽培によって栽培された真妻わさびは、本来の香りや風味を損なうことなく生育し、収穫されます。新鮮なお魚やお肉料理とも相性が抜群です。

また辛味が無くわさびの風味を楽しめるわさび葉は“プレミアム和歌山”に認定されており、それを用いた加工食品“わさび葉ジェノベーゼ”等でお手軽に味わうことができます。

※プレミアム和歌山は、和歌山らしさ、和歌山ならではの視点で推奨する『和歌山県産品（プレミアム和歌山）推奨 制度』です。

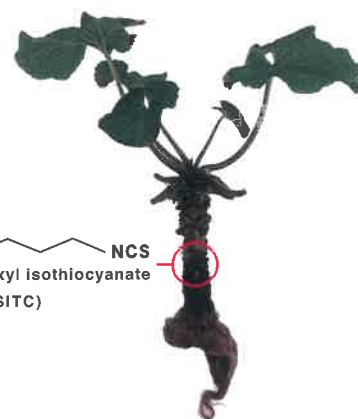
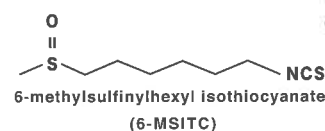


わさびの健康・美容成分

「わさびスルフィニル®」は、チューブタイプのわさびには含まない本わさび特有の機能性成分で、特に根茎部に多く含まれます。解毒作用、抗酸化作用、血流改善作用など、多くの機能性が確認されており、今後の医療品や化粧品などの原料として注目されています。その貴重な成分は、大洋化学で栽培したわさびにも含まれています。

※「わさびスルフィニル®」は金印（株）の登録商標です。

主な健康成分 は「6-メチルスルフィニルヘキシルイソチオシアネート（6-MSITC）」です。



廃校を利用した栽培施設

地域創生への取り組みとして、廃校となった和歌山県日高町の小学校を利用し、わさびの生産を行います。



わさびの歴史

わさびは日本原産で、日本固有の植物です。

その歴史は非常に古く、飛鳥時代の文献からその存在が確認でき、平安時代の日本最古の薬草辞典である「本草和名」でも「山葵 和佐比」と記載があり、当時から薬草としても日本人に馴染みのある存在であったことが分かります。

その後、本格的な栽培が始まったのは江戸時代初期のこととされています。

当時、美食家であった徳川家康は、薬草にも造詣が深く、献上されたわさびを気に入り、栽培を奨励したことが知られています。

幕府から奨励されたことで、安定したわさび栽培の環境が整い、広く流通し始めました。

はじめてわさびが寿司に使われたのは江戸時代初期で、味や風味だけでなく、

わさびは魚の臭みを消し、細菌の増殖を抑えることが経験として庶民には知られていたようで、栽培量の増加とともに一気に全国で寿司への使用が広まりました。



和歌山発祥の真妻わさび

わさびの品種の中でも、品評会で最高峰の評価を得ている品種が真妻です。

風味豊かで甘味があり、粘りが強く、わさび本来の辛味と香りを兼ね備えています。

真妻わさびの茎は一般的によく見る緑色ではなく、赤紫色をしているので、外観ですぐに真妻とわかります。

和歌山県の旧真妻村、印南町川又地区がルーツです。



大洋化学株式会社

<http://www.taiyo-chemicals.co.jp>

大洋技研株式会社

大洋ユニマック株式会社

〒644-0003 和歌山県御坊市島 584 番地

TEL : (0738)22-3551(代) FAX : (0738)22-3553

MAIL : info@taiyo-chemicals.co.jp